

「全鍍連」 2020年 6月号 理事長のよこがお

静岡県鍍金工業組合 理事長 山田 喜康 (株山田)

「好きなこと」



好きなこと。やはりバイクですね。皆さんの中にも、バイクを趣味にしている方はたくさんいらっしゃると思います。私もバイク仲間の一人が山中湖畔に住んでいて、富士山周辺や八ヶ岳へのツーリングを随分と楽しみました。しかし、体力、気力、筋力、視力、知力の衰えを感じる今日この頃。仲間たちもバイクから離れ、周囲からの「そろそろじゃない?」という視線も痛いほど感じるし…いよいよバイクを手放すことにしました。周りも安心したようですが、(ナイショの話)6月発売予定のバイクを予約してしまいました。バイクは空冷2気筒に限ると豪語していた私ですが、小さな単気筒。

もう一つ好きなことは、仏像や神社仏閣を訪れることです。高校の現代国語の教科書に、「浄瑠璃寺の春」(堀辰雄『大和路・信濃路』)という短編が掲載されており、浄瑠璃寺への憧れからそれは始まりました。著者は馬酔木の花が目当てでしたが、私は仏像、お庭、建物—浄瑠璃寺の全てに一目惚。更には家内が仏像好きで、多大な影響を受けました。

高じて、現在、大学(通信教育)で文化財歴史学を学んでいます(学割ききます!!)。18才~86才の約1,200人が在籍中で、平均年齢は59才、60代が一番多く全体の約4割を占めています。皆さんの目的はそれぞれですが、やはり「古墳が大好き」「万葉集が大好き」「民俗学に興味が」…という人がほとんど。「本当は若い時に学びたかったが、就職を考えて他の学部を選んでしまった。勉強したい気持ちが忘れられず、退職したのを機に入学した」人の、何と多いことか。スクーリングに行けば、同好会のノリ。先生曰く、「通学部生は教室の後ろの席から埋まるが、通信部生は前から埋まる」と。勉強に対する姿勢が違いますね。

卒業研究は「東大寺大仏の金めっき復原」がテーマで、趣味と実益を兼ねて弊社で開発しためっき法での復原を考えたのですが、主査教授の「文化財に手を加えることは、法律で禁じられています」の一言で頓挫。ヤル気を失い、簡単に留年。昨年度はめっきから離れ別のテーマ(山車)で申請したところ、何とか研究許可が出ました。こちらの主査教授は懇切丁寧にアドバイスをしてくださり、やる気が戻ってきました。前者の教授は保存学では著名な方ですが…研究者と教育者は違うのですね。しかし、やる気は出たものの大事な時期に台風・大雨が襲い、フィールドワークができず再び頓挫、留年。新学期から気持ち新たに頑張ろうと思ったのですが、新型コロナの影響は…既に中止となった祭りもあり…二度あることは三度ある!?!…

隠れファンも多いようで、サラリーマン時代の同期も、大和朝廷に関する研究を始めたとか。人生100年時代、これから

も文化財を楽しもうと思います。